

教育によりそう

『きょう』育 大作戦!!

11月30日(金)～12月2日(日)

国立信州高遠青少年自然の家

こまっている
子どもたちのために

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

平成30年度 子どもゆめ基金助成活動

全国自然体験活動
指導者集会

全国キャラバン

自然体験活動フォーラム in 高遠

自然体験活動は次世代へ

自然体験活動とソーシャルバリュー

お父さんも お母さんも
おじいちゃんも おばあちゃんも
先生も みんなあつまれー!

平成29年度に引き続き、全国の国立青少年教育施設を会場に自然体験活動指導者 (NEAL) をはじめ、アウトドア大好き人間や教育関係者、学生から社会人まで幅広い参加者を対象に「自然体験活動フォーラム」を開催します。

昨年度は「自然体験活動とアクティブラーニング」をサブテーマとしましたが、今年度は「自然体験活動の社会的価値とは何か、どのように高めるか」という視点で自然体験活動の普及促進へ向けてのディスカッション、SDGs や発達障害等をテーマとする分科会と共に、各地域における課題解決の場でもあります。

また、第一部では第三部のフォーラムに先立ち、様々な指導者研修講座が開設されますので、併せてご参加ください。

● と き : 平成30年 **11/30(金)・12/1(土)・2(日)**

参加定員: **100名**

第一部 30(金) 14:00～1(土) 12:00

第二部 1(土) 13:00～2(日) 12:00

● ところ : **国立信州高遠青少年自然の家**

〒396-0301 長野県伊那市高遠町藤澤 高遠町藤沢 6877-11

● 対 象 : 自然体験活動に興味ある人は、どなたでも。NEAL 指導者大歓迎!

● 参加費 : **第一部** 各講座、別途参加費が必要です。

第二部 12/1・2 に参加 **4,000 円 (学生 3,500 円)**
1 日のみ参加 **3,000 円**

※別途、夕食・情報交換会費 2,000 円、朝食・茶菓子代 800 円が必要です。

お申し込みは
こちらから



主催: **NPO 法人 自然体験活動推進協議会 (CONE)**
Council for Outdoor & Nature Experiences

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL 03-6407-8240

FAX 03-6407-8241

E-mail info@cone.jp

問い合わせ時間: 月～金曜日 10:00～17:00

後援: 文部科学省、国土交通省、農林水産省、環境省(予定)、公益財団法人日本環境教育フォーラム、ESD 活動支援センター、NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、長野県教育委員会(予定)、中部地方 ESD 活動支援センター、信州外あそびネットワーク

第一部

自然体験活動指導者研修

11/30 金
14:00～17:00

12/1 土
9:00～12:00

自然体験活動に様々な立場で関わる指導者に対して実施する専門研修です。

また、CONE トレーナーや NEAL 主任講師、NEAL コーディネーター、NEAL インストラクター等の登録更新が可能です。

自然体験活動上級指導者研修 11/30 金 14:00～17:00

*主に CONE トレーナー、NEAL 主任講師を対象

講師 加々美 貴代
(やまぼうし自然学校)

保険と事事故例研究 11/30 金 18:00～19:30

*主に CONE 包括保険加入者を対象

講師 町頭 隆児
(オフィステラ)

安全管理者研修 12/1 土 9:00～12:00

・自然体験活動における安全管理ー1

*主に NEAL コーディネーターを対象

講師 北川 健司
(川に学ぶ体験活動協議会)

・自然体験活動における安全管理ー2

*主に NEAL インストラクターを対象

講師 佐藤 繁一
(国際自然大学校)



第二部

全体会① 自然体験活動のソーシャルバリュー

12/1 土
13:20～15:10

パネルディスカッション開始に先立ち、モデレーターを務める平野直氏より、長年研究されてきた野外活動の評価について講話をいただきます。また、パネリストの方々には、自然体験活動が子どもの成長に及ぼす効果や、当事者だけでなく一般社会における評価の現状について、異なる背景や専門分野の観点からお話いただきます。



モデレーター 平野 吉直氏 (信州大学理事・副学長)

昭和54年筑波大学体育専門学群卒業後 国立那須甲子少年の家・文部省生涯学習局青少年教育課を経て平成9年信州大学教育学部助教授として就任されて以来は平成15年教授に、平成22年教育学部長 平成27年副学長と学生支援機構長を兼務され現在に至る。野外教育活動が子どもに及ぼす教育効果の分析など数多くの研究発表を豊富な実践経験値を元に発信されている

パネリスト

瀧 直也氏 (信州大学教育学部講師)

竹内 延彦氏 (長野県県民文化部次世代サポート課)

安藤 正紀氏 (玉川大学教職大学院教授)

上乘 誠介氏 (JTB中部長野店)

板倉 浩幸氏 (相模原市小学校教員)



全体会② 学校教育に寄り添う自然体験活動

12/1 土
18:30～20:00

昨年度開催した「自然体験活動フォーラムin信州高遠」では、様々な「教育の在り方」について議論し研究しました。その後、それぞれの立場や活動内容において、実際に取り組んできた成果を10名の実践者から発表いただきます。また、そこから生まれた新たな課題や来場参加者が抱える課題についても「見える化」することに挑戦します。

発表者



関根 健吾氏

(人キープ協会環境事業部副部長) (相模原市小学校教員)



板倉 浩幸氏

(相模原市小学校教員)



伊藤 美穂子氏

(森のようちえん代表)



賀来 春樹氏

(川崎市八ヶ岳青少年自然の家職員) (おたり自然学校代表)



大日方 冬樹氏

(おたり自然学校代表) など 10名を予定

コーディネーター 鈴木 道郎氏

(ACN信州伊那谷キャンパスヴィレッジオーナー)

元教員で、毎日キャンプをしたい、自由が欲しいとの思いから28歳の時に、この中央アルプスの伊那谷にキャンプ場を創設し、親子でのキャンプを大切に活動を実践中。



分科会 パネリストを囲んでさらに知識を深める

12/1 土 15:30 ~ 17:00

分科会① 自然体験活動と発達障がい

小学生のクラスに平均2~3名存在すると言われる発達障がいの子ども達。その症状と関わり子どもにとって自然体験活動はどのような効果をもたらすのか事例から学び、現状課題と可能性について討議形式で深めます。



講師 安藤 正紀氏 (玉川大学教職大学院教授)

神奈川県生まれ。横浜市聾学校や横浜国立大学付属養護学校教員を経て神奈川県教育委員会指導主事、海老名市小学校教頭、相模原養護学校校長を歴任。幼少期よりボーイスカウトに加盟し、野外活動指導者として障害児キャンプの企画運営にも長く携わる。専門は、特別支援教育や障害児の認知発達と運動発達、ムーブメント教育等。

分科会② 信州型やまほいく認定制度の成果とこれから

平成27年に普及型65園、特化型7園から始まった認定制度の現状と積み上げた事例と成果を知り、制度自体のソーシャルバリューについて語り合います。



講師 竹内 延彦氏
(長野県県民文化部次世代サポート課 次世代育成推進幹)

1967年長野県東御市生まれ。筑波大学大学院にて臨床心理学を学び、フリースクール、企業、NPO、行政と立場がわかれど、子育て支援や保育・幼児教育の充実から、発達障がい・不登校、高校中退ニートなど幅広く支援活動に携わる。その実績から、長野県庁次世代サポート課に就任され2019年1月より北安曇郡池田町の教育長に就任が予定されています。
「学校が変われば社会が変わる」ほか執筆活動や講演等活躍中



分科会③ 野外教育研究者からみた自然体験活動

キャンプが及ぼす「子どもの大脳活動」と「生きる力」との相関関係や影響について、野外教育学会での研究成果発表を基に野外教育の研究者として「自然体験活動のソーシャルバリュー」について語ります。



講師 瀧 直也氏 (信州大学教育学部講師)

1978年長野県上田市生まれ。信州大学大学院教育学研究科修了。国立妙高青少年自然の家職員、淑徳大学コミュニティ政策学部専任講師、准教授を経て、2016年より現職。

分科会④ SDGs を活用した自然体験活動

国際的に合意された2030年までに達成すべき17項目について、改めてその考え方や目標内容を理解すると共に、自然体験活動において取り組む際の具体的なアクティビティを研究します。



講師 板倉 浩幸氏 (相模原市小学校教員)

ドイツでの教職経験があり、現在は神奈川県相模原市立小学校理科教員でありながら様々なアウトドア団体に所属し、キャンプディレクターやネイチャーゲームリーダー、RACリーダー、プロジェクトワイルドエデュケーター、NEALコーディネーター等の資格を持つ。

分科会⑤ 学習指導要領と学習旅行商品

JTB中部が長野県をベースに取り組みできた学習旅行の受入れ地としての取り組みを知り、新学習指導要領の変化に伴う学習をテーマにした教育旅行の可能性や社会的価値について深掘りします。



講師 上乘 誠介氏
(JTB 中部長野店 ディスティネーション・マネジメントプロデューサー)

JTB中部において修学旅行の商品開発に携わり、沖縄県独自の豊かな自然と文化に触れる体験プログラムや長野県では人と自然と農業で感じる新しいこと、田舎の暮らし民泊体験を通して多くの中学校に実践されてきた。今日は学習指導要領の変更に伴い導入された「プログラミング」に関する学習旅行を展開されている企画のプロ。

全体会③ 価値を生み出す自然体験活動とは

12/2 日
9:00 ~ 11:30

自分が提供している自然体験活動は本当に社会的価値を含んでいるのだろうか？ そんな疑問や課題を共有した後、同様の課題を持ち合わせている仲間が集まり確認し合い、今後に向けた具体的案を作成する。そして、その活動が持つソーシャルバリューの伝え方を講師の方々の助言を頂きながら不安や課題を解決することを目指します。



コーディネーター 田口 真嗣氏
(信州外あそびネットワーク代表)

大阪府生まれ 1995年阪神淡路大震災で被災し長野県白馬村へ移住。1998年白馬山麓アウトドアスポーツ協議会事務局長に就任し、白馬村マイスター制度を活用した自然体験活動の企画運営指導に従事し、年間2万人を超える方々へプログラムを提供。2009年協議会を株式会社化して独立起業し現在に至る。

情報交換会

12/1 土 20:00 ~

これからのやりたい事を

～はなそう、きこう、つながろう～

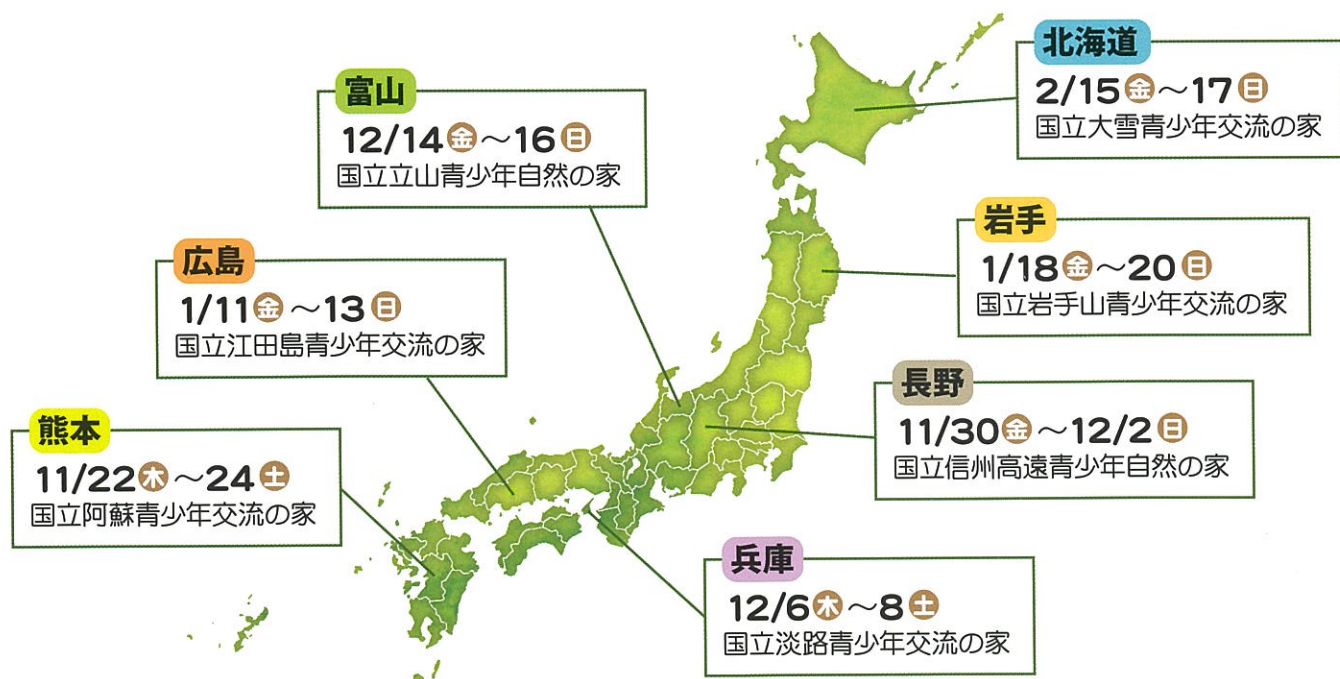
皆様からの特産品の紹介大歓迎！



時	11/30 金	12/1 土	12/2 日
8		8:00 朝食	8:00 朝食
9		安全管理者研修	9:00 全体会③
10		9:00 ・自然体験活動における安全管理ー1 *主にNEALコーディネーターを対象	11:30
11		12:00 ・自然体験活動における安全管理ー2 *主にNEALインストラクターを対象	11:30 まとめ・閉会式
12		12:00 昼食	12:00 解散
13	13:30 第一部受付	12:30 第二部受付	
14	第一部	第二部 13:00 開会式	
15	14:00 自然体験活動 上級指導者研修	13:20 全体会①	
16	17:00 *主にCONEトレーナー、 NEAL主任講師を対象	15:10	
17	17:00 夕食・入浴	15:30 分科会①②③④⑤	
18	18:00 保険と事故事例研究	17:00 夕食・入浴	
19	19:30 *主にCONE包括保険加入者を対象	18:30 全体会②	
20	20:00 情報交換会（任意）	20:00 情報交換会	



平成30年度全国自然体験活動指導者集会 全国キャラバン開催会場情報



ラップアップフォーラム 平成31年 3/15金～16土 国立オリンピック記念青少年総合センター

全国キャラバンの参加者やスタッフ、会場施設職員を対象に開催する1年間を集大成するフォーラムです。是非、ご参加ください。